

2021年11月19日セミナーサマリー 2021年11月22日

H.Takeyasu

日時 2021年11月19日 18:30~20:10

場所 オンラインセミナー

講師 株式会社イーパテント 代表取締役社長 野崎 篤志 氏

参加者 PCIP 会員 17 名、日本技術士会会員 16 名 一般(会員外)4 名 合計 37 名

講演タイトル 特許および特許以外の情報を活用した分析・可視化テクニック

概要 「知財人材スキル標準 (ver2.0)」で IP ランドスケープが定義されて 4 年半が経過し、さらに 6 月のコーポレートガバナンス・コード改定に「知的財産への投資」に関する情報開示・発信が盛り込まれたことで、特許情報分析への重要性がさらに高まっている。本セミナーでは特許情報だけではなく学術文献やマーケット情報などの特許以外の情報（無料データベースを利用）も含めて、MSExcel を使った分析・可視化テクニックについて解説頂いた。

主な骨子は以下の通り。

・**特許・特許以外の情報の組み合わせに関する誤解**

・**IP ランドスケープとコーポレートガバナンス・コード(CGC)改定**

- ・知的人材スキル標準と IP ランドスケープ
- ・IP ランドスケープの定義
- ・改定 CGC と who・what・where の関係
- ・CGC 改定に伴う経営層・投資家向けの情報発信

・**特許以外の情報の種類と分析・活用方法**

- ・特許 + 特許以外の情報 = 政治・経済・社会・技術 + Person・Product
- ・特許以外の情報源
- ・特許以外の情報の活用
- ・特許情報と組み合わせた分析
- ・分析結果解釈・戦略策定 / クロス分析

・**特許と特許以外の情報の分析例**

- ・特許と文献のハイブリッド分析テクニック
- ・特許と文献の複合分析(差分分析)
- ・特許情報と Amazon レビュー
- ・商品開発の方向性提案
- ・特許出願の無いベンチャーキャピタルの補足

・ご講演後の Q&A では、「提案」の前の妥当性検証、海外の情報ツール、海外の分析手法等についてご説明頂いた。

参考著書

- ・「調べるチカラ」（日本経済新聞出版社）
- ・「特許情報調査と検索テクニック入門」（発明推進協会）
- ・「特許情報分析とパテントマップ作成入門」（発明推進協会）

以上

PCIP 幹事より追加情報

セミナー終了後に聴講者の方より興味深い情報が寄せられましたので、追加して以下に掲載いたします。

特許庁が API システムの試行を始めますので、
無料で特許解析ツールを自作しやすくなります。
私も年明けから試してみようとおもいますが、
PCIP の皆様でも試されるようなら一緒に議論できたらと思っています。

<https://www.jpo.go.jp/system/laws/sesaku/data/api-provision.html>

以上